

## 一般質問通告書要旨

5 番議員（清新クラブ） 高阪康彦

町の公式ホームページをもっと活用せよ。

インターネット人口が1千万人を超えたと、聞いたのがつい最近のように思いますが、現在は2千万人とも3千万人とも云われています。単純に考えますと4人に1人がインターネットに接していると思われ、日常的に利用しているものと思われ。

この発端は、2000年9月、当時の森首相が所信表明演説の中で掲げた、いわゆるE-JAPAN構想であります。この構想は、日本を世界最先端のIT国家にし、国民全てがその恩恵を受けられる環境を整えることを目標とし、具体的には2001年に全ての国民が安価なインターネットに常時接続を可能にする。2002年までに電子商取引の制度基盤と市場ルールを整備する。2003年までに電子政府を実現する。2005年までに超高速アクセスが可能なインターネット網を整備する。というものであります。

又、各自治体にも、IT利用による住民の利便性の向上と行政の効率化が求められ、実現しなければならないものには、申請、届け出手続きの電子化や・インターネットを通じたスピーディな情報公開・家庭、会社のパソコンからも行政サービスを受けられるワンストップサービスの実現・ペーパーレス化による経費削減などあります。

2005年4月からは、一部を除き文書の電子保存を広く認める「E-文書法」がスタートします。日本経済団体連合会の試算では、「E-文書法」により、経済界全体で年間3000億円ものコストが削減されると云うことであります。

本題に入ります。

私はこの10月に会派の研修視察で、長野県原村を訪問しました。この村は人口7千5百人ぐらいの村ですが、近隣の市町村との合併を断念し、自律の道を選んだ村です。当町も合併が破綻をしましたので、勉強するには良い所ではないかと訪問をしたわけです。村役場の会議室に入り、先ず儀礼的な挨拶が終わりますと、原村の村長さん、議長さんが、原村に関して色々説明をされる訳ですが、その説明にあわせて、同席された企画課長さんがパソコンの画面をプロジェクターで大画面にして見せてくれるわけです。私達の質問にも、その質問に沿った画面で説明が出来るようになっていました。これらの基であるパソコン資料は何かと思いましたが、これが原村のホームページそのものなんです。課長さんは原村のホームページにアクセスして、それを私達に見せていただけなんです。ホームページも、こういう使い方があるんだと感心しました。実際に、原村のホームページを見てみると、他町村には、あまり掲載していない、入札落札結果・（少し説明）今後の入札予定とか、議会の議事録というものも掲載してあります。今、私は一般質問をしていますが、質問がそのまま文章にしてホームページに掲載してあります。当然、答弁も掲載してあります。原村の事は原村のホームページをみれば全てがわかる、ありとあらゆる事が掲載されています。つまり情報公開に徹しているということです。

又、ビデオムービーと云う項目で動画を上手に使っています。この地には、御柱祭りが有名ですが、その勇壮な姿や、御柱を運んでいく行列などが動画で見れます。原村の紹介も動画でしています。こういった動画を見た人は一度その地に訪れてみたくはないでしょうか。

変わったところでは、八ヶ岳パノラマライブカメラというものがあり、村役場（標高千メートル）にカメラを設置して、ホームページにアクセスした人がリアルタイムで役場から見た東西南北の風景が見れるようになっています。カメラはアクセスした人が、自由に操作出来ますし、天気の良い日には八ヶ岳がきれいに見えるそうです。

私は、このホームページは、制作にずいぶん費用がかかっているだろうと思い、思わず関係外の質問をしてしまいましたが、回答は自分たちで作っているのです、制作費用は0円ということでした。只、この制作の為に県から派遣される出向の方にITに強い方を要望されたそうです。この方と企画課長さんでホームページの制作、運用をしておられるとの事でした。出向の方の人件費を考えますと0円とはいええないかも知れませんが、数字的には0ということなのです。

いろいろと申し上げましたが、私は原村のまねをしろと言っている訳ではありません。原村と蟹江町では立地条件が違いますし、又、人口7千人程度だから出来ることもあります。しかし、参考にしたい事が2点あります。

一つはありとあらゆる事を情報公開するという姿勢であります。

二つめは、行財政改革が叫ばれる折、費用対効果といいますか、小さな費用で大きな効果を上げる事です。それには人任せでなく、自分達の智恵を使うということなのです。同じホームページでも、智恵の使い方によって、ずいぶん違うものになると思います。

原村の場合は智恵だけでなく、自分達で作っているのですから、汗も流していると云うことです。

以上のことから次の質問をします。

HPの構成、掲載項目（コンテンツ）等は誰がどのように企画をしているか。具体的にお願いします。

更新の頻度と、その作業は誰がしているか。具体的に

HP制作に関する費用

アクセス件数の把握、分析はしているか。

～ は担当の課

町のHPには町長への手紙と云うコンテンツがあるが、これまでに町政に参考となるような意見が寄せられたか。又どれくらいの頻度でメールが入るのか、差し支えなければお知らせ願いたい。

町長

町のHPには、動画がない。観光、祭りイベントなどは効果を発揮すると思うが動画を取り入れたらどうか。

又、トピックスの中に財政の項目があるが、これはコンテンツの中に入れて、長期に閲覧出来るようにするべきだと思うがどうか。

担当の課

HP制作に対する基本的な考え方。

町長